

- 問1 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている | 2. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている | 3. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した | 4. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った |
|---|--|---|--|
- 問2 古墳時代に朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、新しい技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 帰化僧 | 2. 渡来僧 | 3. 遣隋使 | 4. 渡来人 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近） | 2. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近） | 3. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近） | 4. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近） |
|------------------------------|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
- 問4 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 2. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 | 3. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 |
|---|--|---|---|
- 問5 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 1. 隋・契丹 | 2. 高麗・渤海 | 3. 百済・新羅 | 4. 唐・宋 |
|---------|----------|----------|--------|
- 問6 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 金印 | 2. 埴輪 | 3. 銅鏡 | 4. 鉄剣 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-------------|--------------|
| 1. 隋・唐・宋 | 2. 魏・呉・蜀 | 3. 渤海・高麗・新羅 | 4. 高句麗・百済・新羅 |
|----------|----------|-------------|--------------|
- 問8 6世紀の古墳時代に、朝鮮半島の百済から日本へ仏教が公式に伝えられた際、経典や仏像とともに日本へ同時にもたらされたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. 稲作の技術とそれに伴う青銅器の製造法 | 2. 寺院建築や彫刻などの高度な技術 | 3. 銅鐸を用いた祭祀の習慣や青銅器文化 | 4. 磨製石器の製作技術と大規模な環濠集落 |
|-----------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|
- 問9 5世紀の日本各地における古墳の分布状況を見ると、近畿地方で誕生した特定の形式の古墳が、九州から東北地方までの広い範囲に築造されていることが分かります。この歴史的背景について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 仏教の影響により、全国各地で国分寺が建立されるようになった | 2. 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった | 3. 狩猟・採集の生活から、堅穴住居に住む定住生活へと変化した | 4. 墾田永年私財法の施行により、地方の有力者が荘園を形成した |
|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問10 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。 | 2. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。 | 3. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稻耕作）が始まった。 | 4. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。 |
|--|---|---|--|
- 問11 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 | 2. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 | 3. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で臺を作るよう命じられたため。 | 4. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 |
|--|---|--|--|
- 問12 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|-------|
| 1. 縄文土器 | 2. 須恵器 | 3. 弥生土器 | 4. 埴輪 |
|---------|--------|---------|-------|
- 問13 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。 | 2. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。 | 3. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。 | 4. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。 |
|---|--|---|--|
- 問14 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと | 2. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと | 3. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと | 4. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていることが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問2	答え 4 渡来人	古墳時代に朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、様々な技術や文化を伝えた人々は渡来人と呼ばれます。
問3	答え 1 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）	大仙陵古墳は、現在の大阪府堺市に位置しています。この地域には巨大な古墳が集中しており、2019年には「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。岩手県の平泉や、静岡県富士山、鹿児島県の屋久島もそれぞれ世界遺産に登録されていますが、古墳時代を象徴するこの巨大古墳は近畿地方に築かれました。
問4	答え 3 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問5	答え 3 百済・新羅	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島北部の高句麗が勢力を拡大していました。これに対抗するために、半島の南部に位置した百済や新羅は倭（日本）と結びつきを強め、軍事的な衝突や技術・文化の交流が行われました。この国際関係は、当時の倭王が中国の南朝に朝貢した理由の一つにもなっています。
問6	答え 4 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問7	答え 4 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、南西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問8	答え 2 寺院建築や彫刻などの高度な技術	百済から仏教が伝来した際、単に宗教的な教え（経典）や崇拜対象（仏像）が届いただけでなく、それらを安置するための寺院を建てる建築技術や、仏像を造るための彫刻技術といった、当時の大陸や朝鮮半島の高度な技術がセットで導入されました。これにより、その後の日本の文化や技術は大きく発展することになりました。
問9	答え 2 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった	近畿地方の大王（後の天皇）を中心とする大和政権が、各地の豪族と政治的な同盟や支配関係を結んだことで、勢力の象徴である前方後円墳という同じ形式の古墳が共有されるようになりました。国分寺は8世紀の奈良時代、荘園の拡大は平安時代以降、竪穴住居は縄文・弥生時代からの住居形式であり、5世紀の古墳時代の動向を説明するものではありません。
問10	答え 2 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。	古墳時代に朝鮮半島から渡来人が移住したことで、須恵器の製造技術に加えて漢字、儒教、仏教、機織などの高度な文化や技術が伝わり、日本の技術や生活文化が飛躍的に発展しました。
問11	答え 1 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問12	答え 2 須恵器	それまでの日本で作られていた赤褐色の土師器（はじき）とは異なり、朝鮮半島から伝わった「あな窯」を用いて1000度以上の高温で焼き上げる製法が特徴です。この技術は渡来人によってもたらされ、貯蔵用や儀式用の器として広く普及しました。
問13	答え 4 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。	渡来人は文字（漢字）の知識だけでなく、養蚕、機織り、土木技術、須恵器の製作など、当時の日本にはなかった高度な技術を伝えました。特に漢字を用いた文書作成能力は、ヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、大陸の諸国と外交交渉を行う上で欠かせないものとなりました。鉄砲は16世紀、稲作や青銅器は弥生時代以前に伝わったものであり、時期や内容が異なります。
問14	答え 3 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと	各地の有力者が大和政権と同じ形式の古墳を築くことは、その有力者が大和政権と政治的な結びつき（同盟や服属）を持っていたことを意味します。このため、前方後円墳の分布範囲を調査することで、当時の大和政権の影響力がどこまで及んでいたかを推測することができます。